

		質問	回答
1	外部	外壁の素材や色を変更してもよいか。	実施要領p.5に記載のとおり、三景園の景観の一翼を担うものとして計画的に調和を図った外観とされているため、これを維持保存する趣旨から、外観は現状のまま(明装工事のみ)としてください。
2		外観の提案はしてもよいか。	実施要領で更新可としているもの以外については、求めている提案の対象外なので、加点の対象になることはありません。どこまでの提案を許容しているか、設計条件をよく読みこんで提案してください。内容や程度によっては入選案（5作品）の対象外となることがあります。
3		看板を建物から離れた場所に設置することは可能か。	実施要領に記載している範囲内での提案を求めています。看板は設けないこととしてください。
4		屋外スペースに固定の家具とかを設置することは可能か。	屋外スペースについては、実施要領p.5に記載のとおり、車両が北門前の広場で柔軟に移動・配置ができるよう、固定物は設けないでください。ガーデンファニチャー等は新設する倉庫に収納できるものとしてください。
5		屋外スペースにポールを立てたり、テント・タープを屋根代わりに設けてもよいか。	仮設（イベント等で必要となる時以外は外して倉庫に収納可能）であれば提案自体は可能です。ただし、仮設は、建築物としては整備せず、施設の使い方についてのアイデアの提供になりますので、提案の主要なコンセプトとはしないでください。
6		種々の条件を考慮し、外構のデザインの範囲をトイレ側に広げることは可能か。	ポーチ、犬走り、スロープは現状のままにし、外構は屋外スペースに係る部分のみ提案してください。
7	開口部	撤去しない壁について、現状ある開口部を閉じることは可能か。	可能です。温熱環境に配慮した計画としてください。ただし、利用上支障とならないよう注意してください。
8		開口部を大きくしたり増やすことはよいか。	実施要領p.5に記載のとおり、開口部の撤去・新設(更新)については、内部の間取り等の提案に応じ、更新が必要不可欠な出入口や窓に限ることとしてください。 開口部の更新を検討する場合は、現状から耐震上有効な壁量が減少しないようにしてください。また、更新にあたって、現状の北門トイレの外観や三景園の景観に馴染むデザインとすることは必須です。

9	内部	要項には「ゆとりあるレイアウト」との記載がありますが、この「ゆとり」とは具体的にどのような内容を想定されているのか。 例えば、各トイレブースや通路について確保すべき寸法や基準があるとか、手洗いスペースや待機スペースなどを含めた空間的なゆとりを指すのか、数値的な基準ではなく利用者がゆとりを感じられる計画を求めているのかなど、どのような解釈をすればよいのか。	バリアフリー法による建築物移動等円滑化基準への適合の努力義務が課せられていることを考慮ください。 下記の国土交通省のHPやTOTO株式会社「バリアフリーブックパブリクトイレ編」などをもとに各部寸法やレイアウトを検討してください。 https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/jutakukentiku_house_fr_000049.html 近年では外国人観光客の来園も増えていることを踏まえ、利用者がゆとりを感じられるレイアウトを提案してください。
10		自然換気への配慮が求められているが、一方で外観や開口部の変更には大きな制約があると理解している。 この「自然換気」とは、既存の開口部を活用した計画を前提としているのか、あるいはトイレレイアウトに伴い各トイレが外気に面するような計画を期待されているのか、建築的な工夫だけでなく素材や空間構成による快適性も含めた提案を求めているのか、どのような考え方を想定されているか教えていただきたい。	実施要領p.5に記載のとおり、開口部の撤去・新設(更新)については、内部の間取り等の提案に応じ、更新が必要不可欠な出入口や窓に限ることとしてください。 トイレの換気について、各トイレの個室が外気に直接面することは難しいと考えています。既存の窓と出入口の位置関係などを活かしつつ、換気効率の向上を検討いただければと思います。
11		休憩室・作業室・屋外スペースにおいて、車椅子利用者が使うことのできる幅のスロープを設ければ、一部段差を設けてもよいのか。	スロープ等については、バリアフリー法による建築物移動等円滑化基準を考慮してください。
12	壁・塀の撤去・新設	P8の「壁・塀の撤去・新設」について、記載の壁を移動させた場合、別図2のとおりになるとのことだが、赤い線が途切れており、そのとおりにはなっていないのではないのか。	別図2については建具位置を仮に想定して記載しています。 建具位置の想定を省いた図は別図3のとおりとなります。
13		壁の新設に伴う補強とは別に長期的な維持・活用を見込み構造補強を行うことは可能か。	新設・撤去する壁に限らず、実施設計時に建物全体で現行基準により必要な構造耐力を確保できているかを検討し、必要に応じた補強を行っていくべきであると考えています。
14	その他	二次審査では模型の提出が予定されているが、模型の縮尺やサイズ等について指定はあるか。	縮尺はお任せしています。 サイズについては幅1,500×奥行き1,350～1,800mm程度のスペースにおさまれば問題ありません。また、二次審査（最終審査）時に模型の郵送受取などは行っておりません。 提案者本人が会場まで運搬することを考慮してください。
15		現在の庭園の整備内容と頻度を教えて頂きたい。庭を維持してくれる人の存在を大切にしたいと思っており、リノベーション後もなにか引き継げるものがあるかを考えたい。	現作業室と現休憩室を利用されている作業員の方の主な整備内容は、庭園の草刈りや植物の手入れを毎日実施されているとのこと。 今回のチャレンジコンペでは、現作業室と現休憩室を廃止して一体化し、来園者のための休憩やイベントなど柔軟に利用が可能なスペースとして「休憩スペース」を新設することを求めています。作業員用のスペースについては別途、施設管理者が検討していますので、提案はしないでください。

16	図面	要領の図面のスケールが合わないものがあるが、計測して寸法がわかる図面があれば提供していただきたい。	平成初期の図面であることからCADデータがないため、現在HPにあげているように、図面を直接スキャンしたものを公表しております。元の図面はA2サイズです。印刷を工夫してもらうなど、各自で計測をお願いします。
17		壁の正確な厚みがわかる詳細な平面図や資料があれば提供していただきたい。	
18		屋根の構造がわかる図面を提供いただきたい。	